

# 広域交流型オンライン学習・小学校（2月）

～韓国を理解するための問いを作り、韓国の子どもと話し合おう！～

広島大学 金鍾成・草原和博

## 1. 概要

他国を理解するためには、その国についてたくさんの情報を知ることよりも、その国と私たちとの「比較」や私たちとの「つながり」を考えながら適切な問いを作ることが大切である。本単元では、韓国を事例に、他国を理解するための適切な問いの作り方を学び、実際に作った問いをもとに韓国の子どもと対話する機会を設ける。そうすることで、他国を理解するためにどのような問いを作ることが重要かを確認することができるとともに、他国を理解するためにはその国の人々と対話しながら私の理解を更新し続けることが重要であることを学ぶことができる。授業はT1（金，草原）の進行と，T2（各校の授業者）の各学級での指導で展開する。機器の操作は大学院生や本市 ICT 支援員がサポートする。

## 2. 授業内容

- 他国を理解するためには、その国と私たちとの「比較」や私たちとの「つながり」を考えながら適切な問いを作ることが大切である。
- 他国を理解するための問いづくりの方法：【他国に関する情報（地理、歴史、言語・文化、政治・経済）】×【私（もしくは、私たち）とのつながり】
- 他国について持っている理解は他国の人々との話し合いを通して変わりうるし、適切な問いにもとづく対話こそ他国を理解するカギである。

## 3. 日時および参加予定校

- 日時：2024年2月27日（火）3時限目：10時25分～11時10分，4時限目：11時15分～12時00分
- 参加予定校：東広島市内小学校の6年生（3クラス：上黒瀬小学校1クラス、木谷小学校1クラス、福富小学校1クラス）

## 4. 単元名および目標

- 単元名：「韓国を理解するための問いを作り、韓国の子どもと話し合おう！」
- 広域交流型オンライン学習の目標
  - ・他国を理解するために、その国と私たちとの「比較」や私たちとの「つながり」を考えながら適切な問いを作ることができる。
  - ・韓国を理解するために作った問いにもとづき韓国の子どもと対話することで、韓国に対する理解を更新するとともに、他国を理解するためには適切な問いにもとづきながらその国の人々と対話し続ける必要があることに気づくことができる。

5. 授業展開（とくに黄色の箇所は、各クラス単位で活動していただきます）

T1(金・草原)の動き	予想される生徒の反応	T2(各学級の社会科担当者)の動き	ホスト(広大)と中継先の動き
<p><b>【導入:韓国ってどのような国?】</b>  <b>○事前アンケートの振り返り(5)</b>            ・3つのクラスがオンラインでつながって学習することの確認            ・事前に「韓国ってどのような国?」の問いに答えてもらった。各クラスから3つずつ、韓国に対するイメージを発表してもらおう。</p> <p><b>○韓国の子どもに聞いてみよう(5)</b>            ・韓国の6年生のみなさん、日本の子どもたちは、韓国を「○○、△△、□□」のように理解しています。どう受け止めましたか?(通訳)</p> <p>・韓国のみなさんから、もっと知ってほしいという願いがありました。では、せっかく韓国のみなさんがここにきているので、いろいろ質問しながら韓国に対する理解を深めましょう!</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キムチや韓国のりが有名</li> <li>・日本に近い</li> <li>・K-popや韓ドラが有名</li> <li>・日本との関係が悪い時もある</li> <li>・食べ物だけでは韓国を理解したとは言えないかも(通訳)</li> <li>・もっと韓国について知ってほしい(通訳)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンをネット接続させる。</li> <li>・ディスプレイの音声を調整する。</li> <li>・生徒のタブレットに、本日の授業の画面を表示させておく</li> <li>・各クラスのなかで出てきた韓国に対するイメージのなかで代表的なものを3つ選ぶ→発表者をカメラの前に着席させる</li> <li>・韓国の子どもたちの話を聞きながら(特に、通訳の合間に)、韓国の子どもたちの意見に対してどのように思うかを尋ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T1と参加校との事前交流(挨拶、音声・カメラテスト)を支援</li> <li>・OP動画の再生(開始12分前)</li> <li>・指名された学級をスポットライト</li> </ul>
<b>【目標の提示】 韓国を理解するための問いを作り、韓国の子どもたちと実際に話し合おう!</b>			
<p><b>【展開1:「比較」に注目して韓国を理解しよう!】</b>  <b>○「比較」の問いづくり(25)</b>            1 他国を理解するには「比較」という方法が役に立ちます。他国と似ているところと異なるところを考えることで、私たちとのつながりを意識しながら他国を理解することができます。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(教室)教室に国旗が飾られているな</li> <li>・(教室)制服はないのかな</li> <li>・(教室)ランドセルは使わないのかな</li> <li>・(給食)毎日キムチが給食に出るのかな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料1】を配布する</li> <li>・子どもたちからたくさんの気づきが出てくるように支援する。また、気づきを板書しながらまとめる。なお、クラスの気づきを他のクラスに発表できるように準備さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の閲覧状況を確認する</li> </ul>

<p>2 日本と韓国を比較した資料1を見て、気になることを各クラスで話し合おう(7)</p> <p>3 どのようなことが気になったのか発表してもらおう(5) →草原先生が気になったことも教えてください</p> <p>4 気になったことを韓国の子どもに聞いてみよう。どのように質問したら良いのかな?(4) →草原先生だったらどのような質問をしますか</p> <p>5 では、韓国の子どもに聞いてみたい問いをつくろう。各クラスで出てきた問いのなかで実際に聞いてみたい問いを3つ選ぼう。Google翻訳を使って作った問いを韓国語で問いかける準備をしよう(8)</p> <p>○韓国の子どもとの対話(30)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(浴室)トイレが浴室のなかにあるのは不便ではないかな</li> <li>・(伝統的な服)伝統的な服はいつ着るのかな</li> <li>・各クラスの発表者が上記のような気になった内容を発表する。</li> <li>・日本ではこうだけど、韓国ではどうですか、というふうに聞きます。(「比較」)</li> <li>・「何が」「どのように」「誰が」「いつ」「どこ」「なぜ」のような疑問を表す表現を適切に使います。</li> <li>・日本の教室には、国旗がないですが、韓国の教室には国旗がありますね。なぜ、あるんですか?</li> <li>・日本では制服を着て学校に行くことが多いですが、学校にはどのような服を着ていきますか?</li> <li>・日本ではランドセルをもって学校に行きますが、韓国ではどのようなばんを使っていますか?</li> <li>・韓国の給食には毎日キムチが出ますか?</li> <li>・日本ではトイレと浴室が分かれていることが多いですが、韓国では浴室にトイレが一緒になっていますね。不便ではないですか?</li> <li>・私は、〇〇の時に伝統的な服を着ましたが、みなさんが伝統的な服を着たのはいつですか?</li> </ul>	<p>せる(3つ程度)。→発表者をカメラの前に着席させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T1と他クラスのやりとりを聞きながら、もっと良い質問のやりかたがあるかを尋ねる。T1から意見を求められたら、子どもから出てきた意見を共有する。</li> <li>・韓国の子どもに聞いてみたいことを1つに集約させ、その内容を問いとしてまとめる。まとめた後に、その時をGoogle翻訳に打ち込み、韓国語に翻訳しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指名された学級をスポットライト</li> <li>・指名された学級をスポットライト</li> <li>・Google翻訳への打ち込みと画面共有の準備を支援する。</li> </ul>
---	---	---	---

<p>1 上黒瀬小学校のみなさんがつくった問いを韓国の子どもに聞いてみよう</p> <p>2 韓国の子どもの答えを聞いてもっと聞いてみたいことがあれば、もっと聞いてみよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表者をカメラの前に着席させる</li> <li>・画面を共有し、Google 翻訳の韓国語音声流す。その後画面共有を停止する。→学生スタッフにゆだねて良い</li> <li>・韓国の子どもたちの話を聞きながら（特に、通訳の合間に）、もっと聞いてみたいことを尋ねる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上黒瀬小学校をスポットライト</li> </ul>
<p>休憩</p>			
<p>○韓国の子どもとの対話—つづく</p> <p>3 木谷小学校のみなさんがつくった問いを韓国の子どもに聞いてみよう</p> <p>4 韓国の子どもの答えを聞いてもっと聞いてみたいことがあれば、もっと聞いてみよう</p> <p>5 福富小学校のみなさんがつくった問いを韓国の子どもに聞いてみよう</p> <p>6 韓国の子どもの答えを聞いてもっと聞いてみたいことがあれば、もっと聞いてみよう</p> <p>7 韓国の子どもたちもみなさんに日本について聞いてみたいことがあるようです。答えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例) 韓国にはすしやラーメンなどたくさん日本の食べ物がありますが、日本にはどのような韓国料理がありますか？</li> <li>・例) 私は日本に行ったことがありますが、みなさんは韓国に来たことは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表者をカメラの前に着席させる</li> <li>・画面を共有し、Google 翻訳の韓国語音声流す。その後画面共有を停止する。→学生スタッフにゆだねて良い</li> <li>・韓国の子どもたちの話を聞きながら（特に、通訳の合間に）、もっと聞いてみたいことを尋ねる</li> <li>・発表者をカメラの前に着席させる</li> <li>・画面を共有し、Google 翻訳の韓国語音声流す。その後画面共有を停止する。→学生スタッフにゆだねて良い</li> <li>・韓国の子どもたちの話を聞きながら（特に、通訳の合間に）、もっと聞いてみたいことを尋ねる</li> <li>・T1 が通訳した後、考える時間を与える。その後、誰が韓国の子どもの質問に答えるかを聞く。志願者があれば志願者、志願者がいない場合は先ほどの発表者に答えてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木谷小学校をスポットライト</li> <li>・福富小学校をスポットライト</li> <li>・指名された学級をスポットライト</li> </ul>

<p>8 今日私たちとの対話に参加してくれた韓国の子どもに拍手を送りましょう</p> <p><b>【展開 2：「日本とのつながり」に注目して韓国を理解しよう！】</b></p> <p>○日本と韓国の「つながり」を探す（20）</p> <p>1 他国を理解する際には、私や私が住む国とのつながりを理解することが重要です。日本と韓国はどのようなつながりを持っているのでしょうか。韓国を紹介している教科書を見て、見つけた「つながり」について話し合みましょう。（10）</p> <p>2 どのようなことが気になったのか発表してもらおう（4）</p> <p>3 他国とのつながりを観察するためには、「虫眼鏡」が必要です。みなさんが、どのような「虫眼鏡」を使っていたかを草原先生と一緒に「虫眼鏡」に名前を付けてみましょう。（3）</p>	<p>ありますか？韓国に来たら何がやりたいですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国は以外と近いんだ</li> <li>・日本と韓国を行き来する飛行機がたくさんある</li> <li>・日本と経済的に深くつながっているな</li> <li>・焼き物などからわかるように昔から韓国とは交流があったな</li> <li>・日本の漫画が韓国ではやっている</li> <li>・韓国の音楽やドラマが日本ではやっている</li> <li>・韓国語って日本語とは違ってパズルみたい</li> <li>・食べ方も日本とは違うな</li> <li>・同じく漢字をつかっているんだ</li> </ul> <p>・各クラスの発表者が上記のような気になった内容を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国は以外と近いんだ（地理）</li> <li>・日本と韓国を行き来する飛行機がたくさんある（地理）</li> <li>・日本と経済的に深くつながっているな（政治・経済）</li> <li>・焼き物などからわかるように昔から韓国とは交流があったな（歴史）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料2】を配布する</li> <li>・子どもたちからたくさんの気づきが出てくるように支援する。また、気づきを板書しながらまとめる。なお、クラスの気づきを他のクラスに発表できるように準備させる（3つ程度）。→発表者をカメラの前に着席させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の閲覧状況を確認する</li> <li>・指名された学級をスポットライト</li> </ul>
--	--	---	---

<p>4 私たちがまだ気づいていない韓国とのつながりには何があるのかな？ 韓国の車先生に聞いてみましょう (3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の漫画が韓国ではやっている（言語・文化）</li> <li>・韓国の音楽やドラマが日本ではやっている（言語・文化）</li> <li>・韓国語って日本語とは違ってパズルみたい（言語・文化）</li> <li>・食べ方も日本とは違うな（言語・文化）</li> <li>・同じく漢字をつかっているんだ（言語・文化）</li> </ul> <p>・例）日本と韓国は良い関係を築いてきましたが、時には衝突することもありました。そのような歴史はいまには影響を与えています。日本と韓国には領土問題、過去の植民地支配とかかわる謝罪と賠償の問題などが残っています。今後このような「つながり」とどのように向き合えば良いかもぜひ考えてみてくださいね</p>		
<p><b>【まとめ：これからの学びへ】 (5)</b></p> <p>1 韓国のみなさんとの対話を通して学んだことは何かな。韓国のみなさんに伝えたい本日最後の一言は何かな</p> <p>2 他国を理解するには、「比較」や「つながり」から問いをつくり、その国の人々と対話することが重要です。これから他国（例：米国、中国、サウジアラビア、ブラジル…）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが韓国はたくさんのつながりがあることがわかった</li> <li>・韓国を理解する際に、食べ物やドラマだけではなく、地理、歴史、言語・文化、政治・経済なども踏まえて、私たちがとの関係から考えることが重要であると感じた。</li> <li>・日本についてももっと知ってほしい</li> <li>・もっと対話したいな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが各自のタブレットで「のんたアンケート」を入力するように指導する。</li> <li>・各クラスの代表1人の回答を共有できるように準備する。→発表者をカメラの前に着席させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指名された学級をスポットライト</li> </ul>

を理解する際には、本日韓国を事例に学んだことを生かせるようにしよう			
-----------------------------------	--	--	--